

2007年11月24日

## 第4回労福協まつり報告



11月24日(土)米子産業体育館を会場に、午前11時から第4回の労福協まつりを開催しました。今回は、会場手配の時期が遅かったために産業体育館が全く空いていない状態で、当初考えていた10月には開催することが出来ずに11月にずれ込んでしまいました。しかし、結果的には、好天に恵まれ絶好のイベント日和になりました。但し、開催日を土曜日にしたことで、行きたく

ても仕事で行くことが出来ないということもあり、来場者数が約900名と昨年と比較して伸び悩みました。それでも、開会時間の前から多くのご家族連れが詰め掛けられ、屋内のゲームコーナーは、子供たちの歓声と熱気で盛り上がりました。また、恒例の大抽選会では、液晶テレビや人気のゲーム機、デジカメ、自転車等々のお目当ての賞品を引き当てるために真剣な眼差しの人も見受けられました。どうも、見ていると欲の無い人に当たるようになっていくようで、何気なく引いたら当たった！という小学生や、当たってから喜び出すお母さんやお父さんの姿が印象的でした。



今回は、ゲームコーナーと同じ場所に、小規模作業所のバザーコーナーを併設しました。これまで小規模作業所には、クリスマスの時期にカンパを寄贈していましたので、違和感無く連携することができました。また、屋外には、恒例の屋台コーナーとして、焼きそばと大山おこわの販売。その横では、豚汁とつきたて餅の無料配布を行いました。各コーナーとも大盛況で、大山おこわは開始早々に完売してしまいました。



また、ミニSLコーナーも子供たちに大人気で、2回、3回と乗る子供達に紛

れて楽しそうに乗る大人の姿も見受けられました。

毎年、多くの来場者で賑わう労福協まつりですが、多くの仲間の皆さんの協力を得て成り立っています。特に、今回は予算を大幅に削減したため、会場の設営等に業者を頼むことを止め、全て動員者の手を借りて行いました。

まつりという親しみやすい媒体をとおして、労福協という組織の知名度の向上と日頃からご協力頂いている会員並びにそのご家族の皆様楽しい一時を過ごして頂けたらという思いから始めましたが、その甲斐あってか少しずつですが知名度の向上が図れたと実感しています。

また、労福協まつりを通して、西部地区にある小規模作業所と連携することで地域福祉の向上にも一翼を担うことが出来ました。

労福協西部支部としては、地域活動をはじめ、勤労者の福祉向上に係わる取り組みなど、労福協らしい活動が一つでも多く出来るように力一杯頑張る所存ですので、今後ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

(西部労福協まつり実行委員会)